

③【小さな夢見る夢子ちゃん】

私の夢は、和の心を着物を通じて世界に伝えること。

こんな大きな夢の一方で、日頃は小さな夢を描き、楽しんでますよ。

ちなみに、私がこの1年に叶えた小さな夢は三つあります。

◆一つ目は、体重を10キロ落としました。

健康診断で注意されたのをきっかけに、減量を決意し、

店のスタッフと共にダイエットを実現しました。

◆二つ目は、フルマラソンで自己ベスト更新。

去年から3月の鳥取マラソンに出ています。去年は制限時間の6時間ギリギリでゴール。見に来てた子供から、「ビリッケツ」と小馬鹿にされました。それで今年は、体を軽くして、練習量も増やして再チャレンジ。4時間40分でゴール。自分の進化にうれし涙がこみあげてきました。

◆三つ目は、子供と始めた釣り。

最初はとにかく魚が釣れたら喜んで、家の水槽で飼っていたのですが、フナ釣りを制覇し、次に水槽に入らない大きなコイ釣りに成功。今は50センチ超のスズキを狙って休みの日は子供と竿を振り続けています。

今のままでいいと思ったときから、実は退化が始まっています。

たった一度の人生、夢見る夢子ちゃん、歩み続けましょうよ!!!



ENJOY!着物のコーナー

「江戸小紋の話」

一、【由来】

江戸小紋とは、鯨、行儀、角通しなどの極小模様の型染めで、主に一色染めのきものをいいます。

この江戸小紋は、江戸時代の武士の袴(かみしも)の柄として

発展しました。染めは藍染めと決められていた中で、

他の藩とおしゃれを競うのは柄しかなかった。しかも派手にする

ことは、幕府の質素儉約に反する。そこで、各大名は地模様をより細かにすることを競い合うようになったのでした。

その結果、人間技とは言えないような、細かな模様が作り出されていったのです。



和想館講演会より